

考 試 科 目	日 文	系 所 別	法律學系一般生	考 試 時 間	2 月 5 日 (一) 第三節
---------	-----	-------	---------	---------	-----------------

一、請將下列法規的內容翻譯成中文

(40%，每題 10 分；標示法規出處的〔 〕內文字無須翻譯)

(一) この法律の適用にあたっては、国民の権利を不当に侵害しないように留意し、その本来の目的を逸脱して他の目的のためにこれを濫用するようなことがあってはならない。

〔『軽犯罪法』第 4 条〕

(二) この法律は、文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的とする。

〔『文化財保護法』第 1 条〕

(三) 法律上正当な手続によらないで、身体を自由を拘束されている者は、この法律の定めるところにより、その救済を請求することができる。

〔『人身保護法』第 2 条第 1 項〕

(四) 全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

〔『児童福祉法』第 2 条第 1 項〕

二、請將下列摘選著作內容翻譯成中文

(40%，每題 20 分；標示文章出處的〔 〕內文字無須翻譯)

(一) 一九五一年九月対日講和条約が調印され、それは翌年四月二八日に発効した。これにより、わが国の独立が達成されたが、同時に発効した日米安全保障条約の結果、アメリカ占領軍はそのまま駐留軍として残った。以後、安保体制がつづくことになる。安保条約の違憲性が争われた砂川事件では、結局合憲と判断された。講和条約調印に先立ち、五〇年の朝鮮戦争を契機として、マッカーサーの指示により警察予備隊が創設された。それは五二年に保安隊と名称を変え、五四年に自衛隊となった。この結果、憲法九条と自衛隊の存在との間で深刻な問題が生じた。この問題は、後に恵庭事件や長沼事件で争われることになる。日米安保条約をめぐる論争は、一九六〇年の改定期に絶頂に達した。

〔摘选自五十嵐清『法学入門』、日本評論社、2017 年、240-241 頁〕

考試科目	日文	系所別	法律學系一般生	考試時間	2月5日(一)第三節
------	----	-----	---------	------	------------

(二) 社会生活においては、いろいろな場合に、われわれは、或る行為をしなければならない、と考える。われわれがこのような考える場合には、そこにその行為の義務があるとか、その行為の規範（或いは、社会規範）がある、というふうにわれわれは表現する。そうして、われわれ日本人が伝統的に、社会生活における規範とか、或いは規範によって媒介されている人間関係（個人と個人との関係）とかを、どのようなものとして認めているかということ、法との関係で問題にするときに、最も重要なのは、伝統的に日本人には「権利」の観念が欠けているということである、と考える。

〔摘選自川島武宜『日本人の法意識』、岩波新書、1994年、15頁〕

三、請將下列中文翻譯成日文

(20%，每題 10 分；為鑑別動詞活用的掌握能力，本大題請一律使用常體作答，若使用敬體〔マス形〕作答，即使翻譯正確，每處仍扣減 2 分)

(一) 為了提升閱讀和理解能力，在大學畢業前通過「日本語能力試驗 N1」，我每天閱讀日文書籍 2 個小時。

【備註】①「閱讀和理解能力」的日文，建議翻譯為「読解力」；②「日本語能力試驗 N1」直譯即可，但必須以正確的日文漢字書寫。

(二) 上個月和朋友去公館遊玩時，在書店買了 2 本便宜又有趣的書，但是昨天被弟弟弄丟了。

備註

一、作答於試題上者，不予計分。
二、試題請隨卷繳交。